

2016年8月10日
イオンエンターテイメント(株)

～ イオンエンターテイメント×神田外語大学が初コラボ ～
映画から外国文化・社会背景を学ぶ 生涯学習プログラムを共同開発
解説付き上映イベント「CINEMA EDUCATION PROGRAM」開催
2016年9月14日(水) イオンシネマ幕張新都心

全国にイオンシネマ 84 劇場を展開するイオンエンターテイメント(本社:東京都港区 代表:牧 和男)とグローバルな人材育成に取り組む神田外語大学(千葉県千葉市 学長:酒井 邦弥)は、映画鑑賞を通じて外国の文化や言葉、社会背景を楽しく学べるカルチャープログラム『CINEMA EDUCATION PROGRAM』を共同開発、イオンシネマ幕張新都心で 2016 年 9 月 14 日(水)に開催いたします。国内シネコン業界で映画を軸とした産学連携のカルチャープログラムの実施は今回が初めてです。

学ぶ楽しさを、もう一度あなたに。—— イオンエンターテイメントと神田外語大学がコラボレーションし、互いの強みを生かした“おとなの学び場”のご提供が実現しました。

当日は 19 世紀のドイツが舞台のヒューマンドラマ映画『コッホ先生と僕らの革命』(2012 年日本公開)を題材に、神田外語大学の講師 河越真帆さんが、作品の舞台となった 19 世紀の英独関係について解説。後半に映画を特別上映いたします。

上映作品は、ドイツ・サッカーの創始者と言われる実在の英語教師コンラート・コッホを描いたドイツ版『いまを生きる』とも呼ばれた感動作。自らを犠牲にしてまで真の教育を授けようとする教師と、心を閉ざして生きてきた少年たちの感動の実話です。

「新しいことを学んで人生をさらに豊かにしたい」「異文化や外国語に触れて文化レベルを向上させたい」という方はもちろん、「映画館にしばらく足を運んでいない」「学ぶ楽しさをもう一度味わいたい」という方に多数ご来場いただきたいと考えております。次回は 10 月 31 日(月)、上映作品「ベトナムの風に吹かれて」、講師は岩井美佐記さんを予定。今後も継続的な実施を検討してまいります。

イオンエンターテイメントは今後も地域文化の発展のため、近隣の学校や団体と連携してさまざまな取り組みを実施してまいります。



講師:河越 真帆さん

記

- 【名称】 『CINEMA EDUCATION PROGRAM』
- 【日時】 2016年9月14日(水) 10:00～13:00
- 【会場】 イオンシネマ幕張新都心 TEL:043-213-3500
千葉県千葉市美浜区豊砂 1-1
イオンモール幕張新都心グランドモール 3 階
- 【内容】 <第1部> 『19世紀の英独関係』解説
神田外語大学
外国語学部 国際コミュニケーション学科
講師:河越 真帆
<第2部> 『コッホ先生と僕らの革命』上映
(上映時間 114 分)
<第3部> 神田外語大学学生によるご案内
- 【料金】 1,000 円(前売券 800 円)
※前売券は 8 月 27 日(土)よりイオンシネマ幕張新都心で販売開始

Ac AEON CINEMA x 神田外語大学 Presents
CINEMA EDUCATION PROGRAM 第1弾
映画で世界を学ぶ
学ぶ楽しさを、もう一度あなたに。
19世紀末、ドイツでなにが起きていたのか。
『コッホ先生と僕らの革命』上映会+神田外語大学教育による解説付きイベント開催
解説『19世紀の英独関係』

【映画解説】
英語講師 河越 真帆
河越さんは、イオンエンターテイメントと神田外語大学の共同開発による「CINEMA EDUCATION PROGRAM」の講師として、映画鑑賞を通じて外国の文化や言葉、社会背景を楽しく学べるカルチャープログラムを共同開発しました。

開催日時 9/14(水)
AM10:00～

【当日スケジュール】
10:00 開演(19世紀の英独関係)解説
11:00 映画上映
12:00 神田外語大学によるご案内
13:00 終了

観覧料 1,000円(税込)
販売開始 9/12(月)より

前売券 800円(税込)
販売開始 8/27(土)～9/11(日)
販売終了 9/13(金)まで

イオンシネマ 幕張新都心

○神田外語大学について

1987年に設立された神田外語大学は「広く『アジア』を地域で捉え未来の舞台に立つ基礎固めを」をテーマにアジア言語学科(中国語・韓国語・インドネシア語・ベトナム語・タイ語)、そして「イベロアメリカ地域を広く捉える力を養い、文化と経済の両軸で世界を見る」をテーマにするイベロアメリカ言語学科、英米語学科、国際コミュニケーション学科の4学科で構成され、世界の言葉と文化に精通したグローバルな人材育成に努めています。また、同大学の取り組みは、文部科学省平成24年度「グローバル人材育成推進事業」に採択されました。

姉妹校である語学専門学校、神田外語学院では、既存の英語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語に加え、平成26年度からはインドネシア語・ベトナム語・タイ語を新設、海外の事業展開を目指す企業が必要とする、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を推進しています。

『CINEMA EDUCATION PROGRAM』 上映作品

作品名 : 『コッホ先生と僕らの革命』
 監督 : セバスチャン・グローブラー
 製作 : アナトール・ニチュケ、ラウル・ライネルト
 出演 : ダニエル・ブリュール、ブルクハルト・クラウスナー、ユストウス・フォン・ドーナニートマス・ティーマ ほか
 原案 : セバスチャン・グローブラー、ラウル・ライネルト
 製作国 : ドイツ (2011年)

<『コッホ先生と僕らの革命』ストーリー>

サッカー強豪国として知られるドイツ。しかし19世紀末、帝国主義下のドイツでは強烈な反英感情が高まる中、イギリスで生まれたサッカーは“反社会的”なものとされていた。そんな中、名門校にイギリスからドイツ初の英語教師が赴任してきた。コンラート・コッホ、後に“ドイツ・サッカーの父”と呼ばれる実在の人物である。

生徒たちは、イギリス＝英語に強い偏見を持っていた。そこでコッホは英語に興味をもたせるため、授業にサッカーをとり入れた。サッカー用語を通じて英語を学び、同時に子供たちの階級や国籍に対する差別意識に対し、公平に敵味方なく敬意を払う“フェアプレイ”の精神や、仲間を思いやる“チームプレイ”の大切さなども教えていく。外の世界に触れず、日々の生活に疑問を持つことなく過ごしていた生徒たちも、徐々にサッカーの虜となり、戸惑いながらも、自らの意志を持ち、選んだ道を歩んでいこうとする。しかしコッホのこの型破りなやり方は、多くの敵を作ることとなり、規律と慣習のみを信じる教師や親、地元の名士たちは何とかしてコッホを学校から排除しようとする。そんな中、生徒たちは自ら立ち上がった—

